

| 施工箇所が点在する工事の積算について

1 対象工事

1) 施工箇所の点在範囲が1 km 程度を超える工事。

例 1) ため池の堤体工事・土取場工事・土捨場工事

例 2) ほ場整備の整地工事・暗渠排水工事

2) 以下の工事・施工箇所は対象外。

① 通年維持工事等、当初契約において工事箇所を範囲で指定する工事

② 出来形管理や現場管理がほとんど必要ない施工箇所

例 1) 土取場や仮置場等で積込・運搬のみの施工箇所

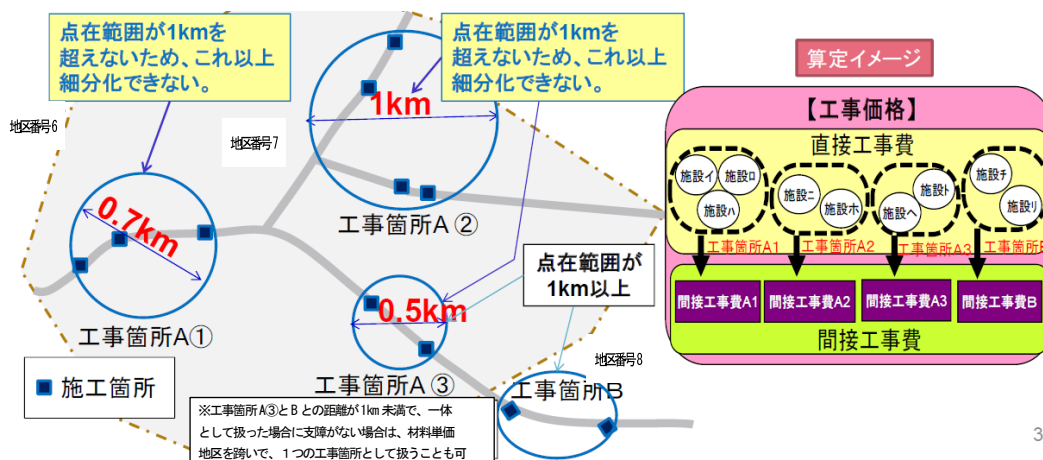
例 2) 土捨場等で搬入や残土整地のみの施工箇所

③ 自走による運搬のみ等で建設機械の輸送がない施工箇所

2 点在範囲の設定方法

原則として材料単価地区内かつ共通仮設費、現場管理費等の施工地域区分の補正が同じとなる範囲で設定します。

なお施工箇所が点在する工事箇所について、点在範囲が1 km 程度を超えなくなる回数を限度に細分できます。



3

【積算イメージ】

< 従 来 >

$$ABC \text{ 直接工事費} + (ABC \text{ 直接工事費} \times \text{間接費率} + \text{積上げ}) + \underline{ABC \text{ 工事原価}} \times \text{一般管理費率} = \text{工事価格}$$

< 本運用 >

$$\begin{aligned} & A \text{ 直接工事費} + (A \text{ 直接工事費} \times \text{間接費率} + \text{積上げ}) \\ & + B \text{ 直接工事費} + (B \text{ 直接工事費} \times \text{間接費率} + \text{積上げ}) \\ & + C \text{ 直接工事費} + (C \text{ 直接工事費} \times \text{間接費率} + \text{積上げ}) \\ & + \underline{ABC \text{ 工事原価}} \times \text{一般管理費率} = \text{工事価格} \end{aligned}$$

※ABC 工事原価 × 一般管理費率は同